

# 信濃毎日新聞

信州発

## デイスプレー 関連品再利用

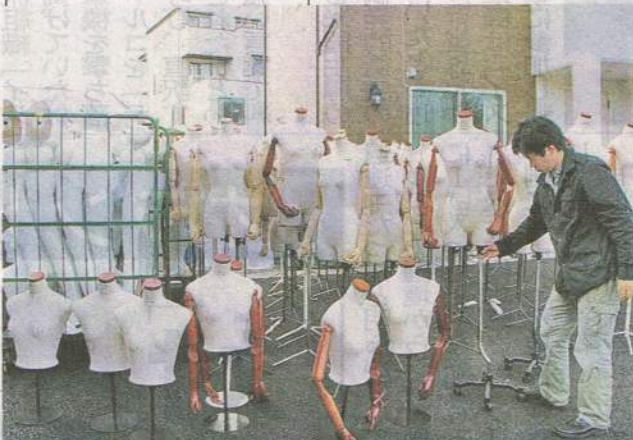
### マネキンや商品棚 アパレルに特化

松本市を中心に県内で婦人服5店を展開するハマヤ(松本市)は、関連会社テナントリユース(同)を設立し、マネキンや商品棚などアパレル店向けデイスプレー用品のリサイクル業に乗り出した。アパレル業界の不況で店舗閉鎖が相次ぐ一方、新規出店需要もあることに着目。通常は産業廃棄物として処分されるデイスプレー用品の再利用を仲介する。来月からインターネット上で販売する予定。出店費用を抑えたい個人事業主らを想定して価格を抑え、創業支援にもつなげる。

### 松本のハマヤ 新事業考案 新規出店者向け ネット販売へ

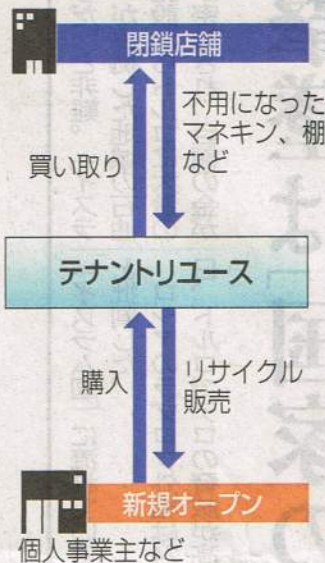
テナントリユースは7月に設立し、社長にハマヤの羽山輝彦取締役が就任。取引先でもあるアパレル大手ワールド(神戸市)が本年度中に全国400店舗以上を閉鎖する方針を発表するなど、業界の閉店増加を受け、リサイクル事業を考案した。羽山社長によると、アパレルに特化したデイスプレー用品のリサイクル業は業界初。

都内のアパレルメーカーなどからテナントリユースが買い取った中古のマネキン=松本市



扱うのはマネキンや商品棚、ハンガーなど店舗で使う用品全般。テナントリユース側が閉鎖店舗を訪れて一式を回収・買い取りする。閉店事業者は廃棄処分費を抑えられ、テナント退去時の費用を捻出できるメリットがある。用品は必要に応じて修理した上で、インターネットのオークションサイトや同社のホームページを通じて販売する計画。4万円のマネキンは1

#### テナントリユースの事業モデルのイメージ



価の10分の1程度での販売を想定している。棚・マネキンなど店舗10坪(33平方分)一式を10万円程度にまとめた新規出店者向けのパッケージも用意。婦人服店運営で培った売り場づくりのノウハウも活用し、羽山社長らが直接届けて売り場に設置するサービスも付ける。

店舗の閉鎖情報は、ハマヤと取引のあるアパレルメーカーの出店担当者にも提供。閉店、出店にかかる時間、手間を省くことで、新陳代謝を促す。羽山社長は「デイスプレー用品のリサイクル業を通じて環境貢献だけでなく、アパレル業界全体の活性化につなげたい」としている。

ハマヤは1940(昭和15)年創業、81年設立。松本市内で4店、長野市内で1店を営業している。